

いしおか

# 市議会だより



第3回定例会

一般質問

14人が登壇

4~8ページ

議案質疑

8~9ページ

市長提出議案

13件を可決

2~3ページ

高校生議会を開催しました

10~11ページ

請願・陳情の概要と結果

10ページ

常任委員会の活動

12ページ

第66号

ぎかい  
広報紙

平成30年12月1日発行

# 八郷中学校グラウンド改修工事など

## 13議案を可決

8月28日から9月13日に開催した平成30年第3回定例会では、「平成30年度石岡市一般会計補正予算(第2号)」や「工事請負契約の締結」、「備品購入契約の締結」など、追加議案も含め、市長から23議案が提出されました。  
(3ページ参照)

### ●一般会計補正予算

議案第74号の一般会計補正予算(第2号)は、



歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6162万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ321億2833万円とするものです。  
歳出の主な内容として、総務費では、通勤者の新規申請者数や利用月額数の増等により不足額が発生する見込みのため増額補正する、通勤・通学支援事業251万9000円の増。  
民生費では、介護老人保健施設の開設に当たり、備品購入費用について補助する、介護老人保健施設開設準備経費6210万円増、平成32年度から5年間の計画期間とする「第2期子ども・子育て支援事業計画」の策定に当たり、国から策定に関する基準等が示されたことによりその経費について計上する、子ども・子育て

支援事業計画推進事業215万5000円の増。  
衛生費では、広域ごみ処理施設建設に伴う周辺道路整備における用地購入費等の見込が立ったことから、霞台厚生施設組合負担金を増額する、清掃一般事務経費2114万8000円の増。  
土木費では、石岡駅東の未利用地への進入路整備に当たり進入路の測量及び用地補償算定、不動産鑑定の委託料を計上する、石岡駅周辺整備事業690万円の増。  
教育費では、コンクリートブロック塀について市内施設の調査を行ったところ、撤去改修が必要な箇所が判明したため、対策工事費を計上する、小学校費の学校維持管理経費590万円増などです。

### ●八郷中学校グラウンド改修工事

議案第93号は、八郷中学校改修工事について工事請負契約を締結するもので、契約金額は1億1669万4000円、契約の相手方は、株式会社アレスコです。工事内容は、現在のグラウンドの水はけの悪い状態を改善するため、グラウンド表面を透水性のある材料により舗装するとともに、雨水排水設備を整備するものです。



▲雨水の残る八郷中学校グラウンド

### ●平成29年度決算

平成29年度の各会計決算認定議案では、市長から「監査委員の審査をいただいたので、審査意見

書を沿えて議会の認定に付す」ことが説明されました。合わせて、健全化判断比率及び資金不足比率について、審査意見書を添えて報告されました。

各会計決算認定議案は、集中的に審査を行うため、議員全員で構成される決算特別委員会を設置し、審査を行いました。10月9日から12日まで開催した決算特別委員会の審査結果は、次期定例会で決算特別委員会委員長が報告し、議会が認定するかどうかを採決します。

今回市長から提出された議案は、各委員会に付託して審査を行いました。本会議で採決の結果、継続審査とした決算認定議案を除く13議案を原案のとおり可決(適任)しました。

そのほか、「高野要議員に対する議員辞職勧告決議案」が提出され、賛成多数で可決となりました(法的拘束力はありません)。

### 健全化判断比率

(単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
石岡市	—	—	9.4	31.6
早期健全化基準	12.60	17.60	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、決算が黒字で値がないため「—」と記載しています。

### 資金不足比率

(単位：%)

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業	—	20.0
下水道事業	—	20.0
農業集落排水事業	—	20.0

※資金不足比率について、いずれの会計も値がないため「—」と記載しています。

議案の内容は、石岡市議会ホームページで詳しく確認できます。  
石岡市議会検索するか、次のURLを直接入力してください。 <http://www.ishioka-shigikai.jp/>

石岡市議会



## 議案の審議結果

**第3回 定例会** ※第3回定例会(8月28日～9月13日)で審議した議案の結果は、次のとおりです。

議案番号	議案名	結果
議案第74号	平成30年度石岡市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第75号	平成30年度石岡市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第76号	平成30年度石岡市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第77号	平成30年度石岡市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第78号	平成30年度石岡市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第79号	平成30年度石岡市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第80号	平成29年度石岡市一般会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第81号	平成29年度石岡市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第82号	平成29年度石岡市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第83号	平成29年度石岡市駐車場特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第84号	平成29年度石岡市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第85号	平成29年度石岡市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第86号	平成29年度石岡市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第87号	平成29年度石岡市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第88号	平成29年度石岡市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第89号	平成29年度石岡市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算認定について	継続審査
議案第90号	石岡市議会議員及び石岡市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第91号	石岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第92号	損害賠償額の決定及び損害賠償請求に関する和解について	原案可決
議案第93号	工事請負契約の締結について(H30八郷中学校グラウンド改修工事)	原案可決
議案第94号	備品購入契約の締結について(H30石岡市新庁舎備品什器購入)	原案可決
議案第95号	市道の認定について	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
決議案第9号	高野要議員に対する議員辞職勧告決議	可決

※議案第80号から議案第89号までは、「決算特別委員会(10月9日～12日)」で審査を行いました。その結果は、次期定例会で決算特別委員会委員長が報告し、議会が認定するかどうか採決を行うこととなります。

平成  
30年

### 第4回定例会 のお知らせ



第4回定例会は、この日程で開催する予定です。なお、放映の欄に「有」と記載されている会議は、仮設庁舎本館2階ロビー、八郷総合支所1階ロビーで中継をご覧頂けます。

月日	曜	主な内容	場所	放映
11月27日	火	議案の提案理由説明など	本会議場	有
12月3日	月	一般質問	//	//
4日	火	一般質問	//	//
5日	水	一般質問	//	//
6日	木	議案質疑	//	//
7日	金	教育福祉環境委員会	委員会室	無
10日	月	総務委員会	//	//
11日	火	経済建設消防委員会	//	//
12日	水	議会改革推進特別委員会	//	//
13日	木	議会運営委員会	//	//
14日	金	議案の採決など	本会議場	有

# SDGs 持続可能な開発目標 各種計画の根底にSDGsの理念を



ひし ぬま かず ゆき 菱 沼 和 幸

問 国連で採択されたSDGsは、「誰ひとり取り残さない」との理念を掲げ、すでに世界規模で取組が始まっています。私は、この理念と推進の必要性を多くの人に理解していただき、各分野で協力しながら目標達成に向け進んでいく必要があると思います。当市においても、今後策定する各分野の計画の根底にこの理念を置いていくべきと考えます。

そこで、当市の今後の取組を伺います。

また、推進本部を立ち上げ、関係機関との意見交換や市民への意識啓発を推進してもらいたいと考えますが、見解を伺います。

答 国のアクションプランでは、SDGsの17の目標に向け、8つの優先分野で取組を推進していくとしています。当市では、これらの各分野に関連する施策を石岡みらい創造プランの施策で取り組んでいる状況です。今後、施策展開の検討や新たな計画策定に当たって、これらの理念を考慮し取組を進めていきます。

SDGsの取組は、日本経済の持続的な成長につながり、市のみらい創造にも大きく関連する重要な政策ですので、国、県の動向を注視し、推進体制の構築も視野に入れて取り組んでいきます。

●学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保の推進  
●安全・安心なまちづくりのため「防災・減災の取組」  
●合併処理浄化槽の保守点検・清掃 など

## ごみ収集

### 再資源化の状況と支援体制



たま づくり よし み 玉 造 由 美

問 新ごみ処理施設が平成33年に3市1町の協力のもとで完成しますが、当市では現在、八郷地区と石岡地区でごみ収集に違いがあります。そこで、分別収集の内容とごみの再資源化の状況について伺います。

また、ごみ分別表保存版の発行や出前講座を設けるなどして

いますが、市民に対してどのように周知を図っているか伺います。さらに、これからの高齢化社会においては、ごみ出しが困難な高齢者や障がいをお持ちの方への支援は大変重要であると思いますが、見

解を伺います。

答 石岡地区では9品目、八郷地区ではプラスチック類を含む10品目に分別し収集しています。新ごみ処理施設の稼働に当たっては、費用対効果等を考慮して、プラスチック類の分別収集も検討したいと考えます。また、古紙・古布類を買取業者に搬入して歳入とする等、再資源化に取り組んでいるところで、周知についてはごみ分別表を保存版として各戸に配布しており、窓口にも常備しています。

また、高齢者を地域で支えあう体制づくりを進めるため、平成29年度から生活支援体制整備事業に取り組んでおり、先進事例を研究しながら当市に合った支援体制となるよう進めていきます。

●高齢者の人生手帳(エンディングノート)

## ふれあいの里石岡ひまわりの館での レジオネラ属菌の検出における危機管理 入浴施設の管理方法と再発防止策



おお つか お 大 槻 勝 男

問 本年4月に、ふれあいの里石岡ひまわりの館の入浴施設内の内湯において、レジオネラ属菌が検出されました。人の命に関わる重大なことが2度までも同じ施設で起きてしまったことは、大変残念であり、今後絶対に起こしてはいけないことでもあります。

そこで、開館時にどのようなチェックを行っているか、入浴施設の管理方法と、検出時の対応について伺います。

さらに、再発防止への取組について伺います。

答 入浴施設の管理方法ですが、開館時には委託業者がボイラー等の作動状況確認や浴槽水の塩素濃度測定等を行い、点検報告書を職員が確認、また、清掃・消毒状況は職員が目視により確認し、工程作業実施点検表でチェックしています。

レジオネラ属菌検出の再発防止の取組として、土浦保健所の改善指導により、配管洗浄の実施、塩素投入位置の変更、ろ材の交換を行ったほか、シャワーヘッド・シャワーホースの交換、打たせ湯吐出口の交換を行いました。また、再開後は浴槽水の交換回数を週2回に増やし、水質検査の回数も年4回から年12回に増やす予定です。また、利用者の声を十分拝聴し、常に危機意識を持ち、管理を徹底していくようにしていきたいと思

## 歩道整備

### 府中中付近の未整備区間の対応策



あかね 茜  
た 田  
にっ 新

**問** 府中二丁目地内の柿岡街道の入口交差点から村上地内Y字路までの区間は、府中中学校前の一部区間は歩道が整備されていますが、中学校前後の歩道については未整備のままとなっています。この路線は、多くの児童生徒が利用し、朝夕には交通量も多く危険な箇所があり、何とか整備をしていただきたいと考えます。

**答** 歩道の未整備区間については、現在のところ既存の道路幅員や路肩の状況、隣接家屋の状況等の調査を行っています。今後の計画ですが、歩道整備の必要性を十分認識してはいますが、整備には既存道路の拡幅を伴う用地確保が必要となり、工事完了までに相当の時間や費用を費やすことから、現状での歩行者の安全確保を図るためには、既存道路内での対応が望ましいと考えます。その方策として、通行帯を明確にして歩道への接近を防ぐ、グリーンベルトの設置等の対策を図りたいと考えます。また、歩行者が安全に通行できる歩道整備について調査研究してまいります。

#### その他の質問事項

●石岡市における地域間連携

います。



かわ い こう いち  
川 井 幸 一

## 石岡市の経済の活性化

### インバウンド対策と里の駅で観光客誘致を

また、地域の情報発信、農業者、商業者の収益確保のためにも大きな役割を果たすと期待される「里の駅」の可能性調査経費が当初予算に計上されていますが、その進捗を伺

**問** 石岡市は国際観光客の誘致、いわゆるインバウンド対策が不足していると思えます。既に笠間市では、台湾に交流事務所を開設し職員を配置したり、県央ブロック7市町村では、広域で連携し海外から観光客を誘致する取組が始まっていることですが、当市での国際観光への取組について伺います。

**答** 海外からの観光客誘致の取組として、これまでに観光協会ホームページの多言語化や市内施設へのフリーWi-Fi、Fisポットの設置、茨城大学と連携した中国語による観光PR動画の制作・公開などを行ってきました。本年度は新たに英語版おまつりガイドブックを作成しており、今後、観光パンフレットや観光施設サイン表示の多言語語化など、受入体制の強化に取り組んでいきます。また、里の駅については、立地条件、機能、集客性などの観点で可能性調査を行っており、中間報告が9月下旬に提出されますので、その報告をもとに今後、基本構想、基本計画を進めていきたいと考えています。



## 効率的な行政運営

### 機構改革の必要性



たか やす 保 卓  
いし 橋

**問** 現在の庁舎のあり方は、震災の影響により分庁方式を採用しており、市民の皆さんは本庁、支所のいずれか一方所で手続きを済ませられないなど、不便を強いられています。そこで、新庁舎のオープンを目前に控え、組織機構を見直し、本庁方式に戻す考えはあるか伺います。

**答** 組織の見直しについては毎年度検討しており、今年度も、新年度に向けた組織機構の見直しを検討しています。新庁舎での組織機構については、新庁舎建設基本計画に基づき、現在の仮設庁舎とまちづくり館にある部署に加え、支所から議会機能が新庁舎へ移転する予定です。面積の問題等がある中で本庁方式に戻すのは困難な状況と考えますが、市民の皆さんに迷惑のかららないように、組織機構の見直しの中で市民サービスの向上に努めてまいります。

また、分散配置についても今後の検討の中で十分精査しながら、市民サービスの低下とならないような組織、配置に努めてまいります。

廃棄物の不法投棄

竹林伐採後の根株の不法投棄



野高 かのま 要

棄物に該当するものと思
います。

問 竹林の伐採後の根株
の不法投棄について回答
を求めてきましたが、市
は、法令違反の疑いはあつ
たものの2年間にわたり
市の考え方を整理し、自ら
の土地であるため第三者
に何ら迷惑をかけるもの
ではないという結論に達
したとして、一般廃棄物で
あると認めながら、問題な
い旨の結論を示していま
す。そこでまず、根株は一
般廃棄物で間違いはないか
伺います。

根株の埋設については、
法令違反の疑いはあったも
の、自己所有の土地であ
るため第三者に対して何
ら迷惑をかけるものでない
という結論に達し、違法か
否かの判断に結論が出な
い状況でした。
法律では、「何人もみだ
りに廃棄物を捨ててはな
らない」と規定されてお
り、法の趣旨等に照らし、
公衆衛生及び生活環境の
保全に支障が生じると認
められる行為か否かで判
断するということのです
で、直ちに支障を来たして
いるかを当市では判断で
きないことから、司法にゆ
だねるしかないものと感じ
ています。

さらに、迷惑をかけなけ
れば自分の土地に埋めて
いいという結論なのか、こ
のような結論を下した法
的根拠は何か伺います。

答 個人が竹を切つて処
分するに当たっては、一般廃

その他の質問事項

●中学校の淫行事件 ●財
源の確保と有効活用 ●厳
しい財政状況の中で市民
サービスをどの様にし
ていくのか



徳増 ちひろ 尋

手したのか伺います。

第1保育所、第2保育所の現況
並びに統合保育所の建設

統合保育所建設時期と現施設の安全性

問 第1保育所、第2保
育所の統合保育所の建設
は、当初予算に実施設計
の委託料が計上されてお
り、実施する方向である
と思います。そこで、建設
はいつを目途としている
のか、遅々として進展し
ない原因は何か伺います。
また、小学校の中に保育
所が間借りしているよう
な状態で、火
災や災害など
万が一の時に
児童・園児が
安全に避難す
ることができ
る施設である
か伺います。

さらに、学
校と保育所
という異なる
用途が混在
することから、
異種用途区
画を申請し、
改装工事に着

答 統合保育所の建設
は、石岡市保育所・幼稚
園個別施設計画をもと
に、今年度の実施設計、
次年度に建設工事を計画
し、平成32年4月の開所
を目指しています。発達
障がいの研究・研修など
課題がありますので、そ
れをしっかりと解決した
上で一歩一歩進めていき
ます。

現施設については、保
育所独自の消防計画等を
策定するなど安全対策を
確立しています。また、
異なる用途が混在する建
物には、建築基準法で定
められた防火区画の1種
である異種用途区画工事
が必要とされています
が、現在の状況は緊急避
難措置としての位置付け
のため、当該工事は実施
していない状況です。

その他の質問事項

●常陸風土記の丘の整備
●中心市街地空き店舗等
活用支援事業費補助金の
E教育企画に対する全額
返還請求

情報公開請求に関する手続き等

団体代表者の個人名の取扱い



谷田川 やすし 泰

り、原則公開しないことにな
ると考えます。請求者の
個人名を職員が漏らした
場合の処分については、そ
うした事態が発生した場
合に状況や内容をよく精
査した上で、こういった措
置が必要か考えていきま
す。個人情報に関する認
識については、職務上知
り得た秘密は他に漏らして
はならず、それは退職後も
引き継がれるという認識
です。

問 情報公開請求に関す
る手続きについて、情報公
開請求者の個人名は、第
三者に公開されるものか
伺います。仮に職員が第
三者に請求者の個人名を
漏らした場合、どのよう
な処分を受けるのか、ま
た、個人名を教えること
で犯罪等の重大な問題に
つながる可能性がありま
すが、市の認識を伺いま
す。

また、団体代表者等の
氏名については、概に公的
な団体、また補助の対象者
ということばかりでなく、
団体としての位置や役割
なども勘案しながら、個人
情報とするか、団体の代表
の名前とするかを広い意
味で判断する必要がある
と考えます。

さらに、公的な団体の
代表者や、公的な補助制
度を利用する任意団体代
表者の個人名は、情報公
開されるのか、伺います。

答 情報公開条例では、
請求者の個人名は個人に
関する情報として公開し
ないことができる情報であ

その他の質問事項

●不適切な手続きで作成
配布された業務報告書 ●
廃棄物処理法における対
応

## 高齢運転者の免許証自主返納 返納者に対する優遇制度導入を



みちよ やまし た  
村 上 泰 道

**問** 運転免許証の自主返納は県内でも積極的に取り組まれ、自主返納者に対する支援制度を設ける自治体や高齢者への優遇制度を実施する自治体が増加しており、タクシー初乗り料金の助成やコミュニティバスの無料券など、自治体の公共交通体制によってさまざまな制度が確立されているようです。このような制度を設けることは、高齢者の外出機会の創出につながることも、民間企業への経済支援、さらに、健康寿命の延長にもつながるものと考えます。ぜひ、当市でもこのような優遇制度を導入していただきたいと考えますが、見解を伺います。

**答** 当市では、65歳以上で運転免許証を持つている約1万4000人のうち、昨年度の自主返納者は151人でした。当市では現在、免許返納者に対する公共交通機関利用等の優遇制度はありません。ですが、県内で取組が進んでいる状況を踏まえ、今後、市役所内部の横断的な検討を進めていく必要があると考えます。安全で安心なまちづくりを進めていく観点から、中長期と短期に分けて政策を考えていきたいと思えます。特に、免許を返納された移動制約者の方はすぐにも困ってしまいますので、短期的な対応を早急に考えていきたいと思えます。

**その他の質問事項**  
●株式会社まち未来いしおか  
●若年性認知症

## 石岡市民会館の今後

### 現状を考え早急な決断を



い げ る  
さ くら 櫻 井 茂

**問** 市民会館は築後52年が経過し、老朽化が著しく、特に大ホールは耐震診断でも危険な状態にあるとの結果が報告されていますが、実際に地震等が発生した場合の、避難に向けた施設の改修や、誘導方法について伺います。

また、市民会館大ホールの出入り口にはすべてに階段があり、地震等の際、大勢の方々からより早く避難できる構造とはなっていないま

の方向性を決めるべきと考えますが、見解を伺います。

**答** 避難に向けての大規模な改修には取り組んでおりませんが、ホール入り口のエントランスの壁面に、避難経路図を設置したほか、避難マニュアルの作成や年2回の避難訓練を実施しています。避難誘導の時間について、訓練を繰り返す中で、10分程度の時間を要すると想定しています。

市民会館の方向性については、来年の9月までに個別施設計画を策定する予定で、現在関係部署と検討・協議を行っているところです。策定にあたっては、今年6月に実施した市民アンケートの結果も踏まえ、市民が望む市民会館となるよう検討してまいります。

**その他の質問事項**  
●職員の定員管理と人材育成  
●個別計画（事業計画）と予算計上

## 東海第2原発避難計画協定と 石岡市の対応

### 有効な避難計画の策定は可能か



まさよ し まつ やま 正 豊 小 松

**問** 県の広域避難計画では、ひたちなか市民約1万5000人が当市に避難する計画となっていますが、避難に当たりどのような交通手段を確保するのかひたちなか市から具体的に示されておらず、当市の避難所についても、避難者数に対する面積が国際基準を下回るなどの問題があります。そこで、避難計画策定の現状について伺います。

このような問題があり、さらに、当市自ら被災することも想定される中で、現実的に有効な避難計画を策定することが可能なのか、見解を伺います。

計画が示され、具体的な移動手段等についてはひたちなか市の計画の中で策定されるものと考えます。ひたちなか市では、避難先自治体と協議を重ね、県内及び県外広域避難に関する協定を締結しています。今後、広域避難計画策定に向けて住民説明会などを行った後、改めて受入自治体を対象とした打ち合わせをしていく予定です。何にもまして市民を被害から救わなくてはならないということが広域避難計画に求められますので、東海第2原発についてさまざまな議論はありますが、政策推移を見守っていききたいと思えます。

**その他の質問事項**  
●懸案の崖崩れ対策、水害・排水対策の具体的推進  
●石岡市におけるごみの減量化・資源化の推進  
●市民の切実な要望と具体化

**答** 県の広域避難計画にはひたちなか市民の避難

消防行政

消防団員・職員に免許取得費用の助成を



お だ た だ し せき 関

問 運転免許制度の改正により準中型免許制度が導入され、導入後取得した普通免許で運転可能なのは3・5トン未満の車両となりますが、消防団員が免許を取得する経費に対して助成していく予定はあるか、また、今後の消防団ポンプ車の運用をどう考えているか伺います。

また、消防署では大型、中型の消防車を運用しており、免許の取得費用は大変負担になることから、職員に対し取得費用の助成を考えるべきと思いますが、見解を伺います。

答 現在入団している消防団員については、改正前の免許取得であるためポンプ車の運用に支障はありませんが、今後、入団する団員には将来的にポンプ車を運用できなくなるおそれがあるため、今後の運用について調査を進めていきます。また、免許取得費用の助成や、3・5トン未満の消防ポンプ自動車の配備などを考慮して、県内先進自治体の事例を参考に検討していきたいと考えます。

認知症パーキンソン病の対策改善

認知症ケアにユマニチュードを導入しては



さくら い のぶ ゆき 櫻 井 信 幸

問 福岡市では認知症のケアにユマニチュードという介護ケアの手法を取り入れたと聞いています。ユマニチュードというのは、人間らしさを取り戻すというフランス語で、見る、話す、触れ、立つという4つの大きな柱があり、これらを使い働きかけることで、お互いを尊重し合い、他者とポジティブな関係を築く方法とのことですが、このケアの手法を家庭、在宅介護の中で取り入れていくことによつて、相当認知症の改善が見られると聞きますので、当市においても、在宅

お互いを尊重し合い、他者とポジティブな関係を築く方法とのことですが、このケアの手法を家庭、在宅介護の中で取り入れていくことによつて、相当認知症の改善が見られると聞きますので、当市においても、在宅

介護で悩んでいる方たちに教えてみてはいかがでしょうか。

答 議員ご提言の認知症患者に接するコミュニケーション手法は、認知症の方の性格や人間関係、生活環境や心の状況等が影響して、認知症生活の中の行動や態度にあらわれる様々な症状を落ち着かせ、介護する方の疲弊や燃え尽きを軽減する等の報告があり、相談活動や介護の場面で大変有効であると考えています。ユマニチュードを含め、効果的な認知症に対する介護方法にはいろいろな方法がありますので、今後、そういうことも取り入れて講座を開催するなど、市民の方に周知し、広めていければと考えています。

その他の質問事項 ●筋肉調整を伴うスロージョギングの今後の展開 ●公共事業等

議案質疑

議案第76号 下水道事業特別会計補正予算(第2号) 経営戦略プランの見直しを



お お わ だ ひろ き 大和田 寛 樹

問 流域関連公共下水道整備事業(補助)の管渠埋設工事2769万6000円について詳細を伺います。今回の補正予算と、平成29年3月に策定した経営戦略の整合性は取られているか。今年度見込みの新規市債額は、補正予算で起債する額と合わせ1億5350万円で、経営戦略プランの数字とほぼ合っていますが、債務残高の見込みが計画値よりプラスになります。投資的経費を減らし起債額を減らすという計画を立てたのに、借金が増えるのは問題です。以前より話しているとおり、経営戦略プランの見直しが必要だと思いますが、見解を伺います。

答 今回の管渠埋設工事は国から事業費補助金増額の内示があり、その分を計上したものです。増額された事業費は、県道石岡筑西線の歩道部に埋設する下水道幹線、大谷津六軒3号線の埋設工事などで、事業の整備促進を図っていきます。なお、今回の補正はこれまでの経営戦略の建設改良費を考慮したもので、整合性も取れていると考えます。経営戦略は平成29年度から10年間の策定をし、毎年度評価を行っていますが、下水道事業特別会計が平成32年4月に公営企業会計へ移行を予定しており、その時点で新たな経営戦略の見直しを行っていきます。

その他の質問事項 ●石岡市議会議員及び石岡市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正



## 八郷中学校グラウンド改修工事

### 櫻井 信幸

問 八郷中学校のグラウンド改修工事について、委員会での審査がまだ不十分であると思います。本議案を今期定例会に提出した理由を伺います。

また、視察を実施した千葉市の中学校の改修内容と比較して、今回の八郷中学校のグラウンド改修工事は大がかりな工事に過ぎているように感じ、暗渠排水等無駄な歳出が多いと思います。考えを伺います。

答 八郷中学校グラウンド改修工事は、現在の水はけの悪いグラウンドの状態を改善し、透水性のある材料によるグラウンド舗装と、雨水排水処理設備の整備を主とするものです。グラウンド舗装には、複数の工法の中から特徴や効果、経済性について比較検討した工法

を採用しています。グラウンド表面の勾配については二方勾配とし、建設指針の基準の範囲内である0・3から0・6%と

しています。暗渠排水については、有孔管を増やし、地表面の勾配に合わせ布設替えをすることとしています。これらの工事を着実に実施することで、現在の雨水排水の悪いグラウンド状況の抜本的な改善を目指すために、今回、提案をいたしました。

ご指摘の暗渠排水については、雨水排水改善のためにも、グラウンドの地盤の状況によって設置の必要性を検討することから、粘性土などの透水性が低いと思われる場合には設置したほうが有効であり必要であると考えます。

## 子どもたちに平等な保育を

### 小松 豊正

問 本来、保育は平等であり、市が責任を持ってやるということが、児童福祉法の第24条第1項で守られています。この原則的な規定に基づき、どの施設でも、子どもたちに平等に保育が保障されるよう、設備運営の基準は認可保育所の基準に当てはめるようにすべきですが、家庭的保育事業等とはどういった内容を指すのか。関連して、保育者資格の多様化や連携施設の問題について今回の改正でどのようになるのか、伺います。

答 家庭的保育事業等は4つの事業類型があり、小規模保育事業は定員6人以上19人以下の小規模な保育施設。家庭的保育事業は家庭的保育者の自宅などで定員5人以下の乳幼児に保育を提供する事業。事業所内保育事業

は民間企業などの民間事業主が主として雇用する労働者の子どものほか地域で保育を必要とする乳幼児に保育を提供する事業。居宅訪問型保育事業は乳幼児の自宅に訪問し保育を提供する事業で、現在、当市における家庭的保育事業等は、平成29年4月に認可した小規模保育事業1か所です。

今回、保育士資格に係る改正はありませんが、これまで保育所、認定こども園、幼稚園に限られていた連携先が小規模事業、A型、B型、事業所内保育事業も認めるという改正となっています。

問 子育て世代包括支援センター事業、産後ケア事業委託料が54万6000円増額補正されていますが、事業の目的と内容を伺います。また、増額補正により、どのような事業を展開し、委託先はどこを予定しているのか伺います。

さらに、事業の利便性を確保して、相談しやすい体制の構築や、身近なところでサービスを受けられるようにするなどの充実を図っていただきたいと思いますが、考えを伺います。

答 産後ケア事業は、出産後の母子の心身のケア、育児のサポート等を行い、出産後も安心して子育てができる支援体制を確保することを目的として、産婦や子の心身のケア、育児に関する指導及びカウンセリング、育

## 産後ケア事業委託料の増額

### 石橋 保卓

児サポート等を行うものです。国のガイドラインでは、宿泊型、デイサービス型が示されており、当市では、利用者の居宅等を訪問してケアを行うアウトリーチ型を4月から実施していますが、今回の補正により宿泊型とデイサービス型を追加し、事業の拡大を図りたいと考えます。

利用に当たっては、申請書子育て世代包括支援センターに提出し、その後、保健師等がアセスメントを行って利用を決定、利用者と委託先が利用日を調整することになります。本人が申請に訪れることができない場合は、市から出向いて申請書を受け取るなどの対応をしています。

委託先については、市内や当市周辺で開業しているところと契約を結んでいく考えです。

### その他の質問事項

●平成30年度石岡市一般会計補正予算（第2号）

# 石岡市 高校生議会 を開催しました

7月23日(月)に石岡市高校生議会を初めて開催し、市内の県立石岡第一高校・石岡第二高校・石岡商業高校、私立青丘学院つくば高校の代表者15名の高校生議員が、堂々と市政一般について質問をしました。

開かれた議会、また、議場での質問を通して、二元代表制における議会・議員の役割と責務の体験及び市政に対する理解と関心を高めることを目的とし、高校生議会を開催しました。

開催10日前の事前説明会では、高校生議員は「議会のしくみ」について勉強し、初めて入った議場の中で、議場内でのマナーや質問登壇する際の一連の動きについて説明を受けました。

いよいよ本番、15名の高校生議員は、一人ひとり丁寧に一礼して議場に入り、自分の席の氏名標を立てて着席しました。

議事はあらかじめ高校生議員の中から選ばれた議長2名(前半:石岡第一の藤岡美都議長、後半:石岡第二の寄名綾乃議長)が進行しました。質問は自分たちの身のまわりの問題や石岡市の施策等について、事前に通告書を提出し通告の内容にそって行いました。

質問項目は次のとおりです。



1. 石岡商業 伊藤美樹議員  
『石岡市内における介護施設への待機問題について』



2. 石岡第二 関町将太議員  
『市内の就農割合について』



3. 石岡第一 鈴木智華議員  
『石岡市内での税金の使われ方とは』



4. 青丘学院つくば 金賑河議員  
『石岡市における、少子高齢化時代の世代間交流のあり方について』



5. 石岡商業 大塚雅弥議員  
『他の自治体への職員派遣について』

## 請願&陳情

平成30年第3回定例会で議題とした請願・陳情

請願の内容	付託委員会	審議結果
<p><b>教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度監持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願</b></p> <p>【請願の要旨】ゆたかな子どもの学びを保障するための条件整備は不可欠であることから、2019年度政府予算編成で次の事項が実現されるよう関係機関への意見書の提出をしていただきたい。①計画的な教職員定数改善により少人数学級を推進すること②教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため義務教育費国庫負担制度を堅持すること</p> <p>【委員長報告の要旨】教職員数の現状や少人数学級に関する質疑があり、採決の結果、採択すべきものと決しました。</p> <p>【委員会での審査結果】採択とすべきもの</p>	教育福祉環境委員会	採 択

※審議結果の欄は、付託委員会での審査結果報告を受けて本会議で表決をし、議会としての意思決定をした結果です。



6. 石岡第二 寄名綾乃議員

『公園の整備状況について』

(後半議長)



11. 石岡第一 藤岡美都議員

『せまい歩道など、道路などの改善は検討されているか』

(前半議長)



7. 石岡第一 栗山葵衣議員

『石岡市の知名度向上のために  
行っている政策は何か』



12. 青丘学院つくば 川又朱莉議員

『「子どもの貧困」に対する石岡市の  
現状とその支援・対策について』



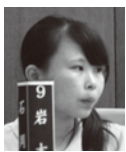
8. 青丘学院つくば 渡邊航平議員

『石岡市における環境ボランティア  
の現状について』



13. 石岡商業 飯塚裕貴議員

『農作物を荒らす野生鳥獣への対策  
について』



9. 石岡商業 岩木綾音議員

『いきいき茨城ゆめ国体・東京オリン  
ピック・パラリンピックにおける石岡市  
の取組及び感染症対策について』



14. 石岡第一 千葉あおい議員

『自然環境に関する政策について』



10. 石岡第二 笹沼一真議員

『観光客を増やすための政策に  
ついて』



15. 青丘学院つくば 伊藤萌花議員

『若者に向けた、石岡市における地  
域振興の取組について』

緊張した面持ちで開会した高校  
生議会でしたが、一般質問に入  
ると高校生ならではの意見やアイ  
デアを投げかけ、堂々とした姿勢  
で質問にのぞみ、市長・副市長・教  
育長からの答弁には真摯に耳を傾  
けていました。

高校生議会を経験して政治や行  
政に関心を持ち、自分たち若い世  
代が石岡市の発展のためにできる  
ことは何かという各々の熱意が強  
く感じられました。



石岡市高校生議会の会議録は、  
ホームページをご覧ください。  
<http://www.ishioka-shigikai.jp/>

第3回定例会で可決し、関係機関へ送付した意見書は次のとおりです。

■ 意見書名	■ 送付先
教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度監持に係る意見書	内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、衆議院議長、参議院議長

意見書

# 常任委員会の活動

●石岡市議会には、3つの常任委員会が置かれています。各委員会は、それぞれ担当する部門をもっていて、市の業務内容の調査や、議案と請願・陳情の審査などを行っています。ここでは、平成30年第3回定例会での各委員会の活動内容を報告します。

## ●総務委員会

### 使用料・手数料の設定 ガイドラインの策定

9月10日開催の当委員会では、一般会計補正予算など付託された議案4件の審査を行い、いずれも原案可決すべきものと決しました。

また、所管事務の調査として、使用料・手数料の設定ガイドライン策定について説明を求めました。当市では、合併後、消費税率改定への対応等を行ってはいませんが、負担額の内容について根本的な検討を行っていない状況であることから、各種サービスに関する受益者負担の考え方を明らかにし適正な受益者負担を算定するため、設定ガイ

ドラインの策定を進めていく考えであることが示されました。

これを受けて委員からは、スポーツ施設等の広域連携を視野に入れた設定をしていく必要があるとの意見や、激変緩和措置の考え方について意見が出されました。

## ●教育福祉環境委員会

### 八郷中学校グラウンド 改修工事

9月7日の当委員会では、付託された議案6件の審査を行いました。

契約締結議案である八郷中学校グラウンド改修工事は、現在のグラウンドの水はけの悪い状態を改善するため、グラウンド表面を透水性のある材

料により舗装するとともに、雨水排水設備を整備するという内容です。これまで担当委員会では、課題のあった当初の整備工事について調査し、水はけの悪い要因、対策案等の報告を執行部に求めるとともに、他自治体の学校グラウンドの状況について、先進地行政視察を行ってきました。

議案の審査では、委員からの「暗渠の部分を掘削して壊し、また埋め戻して作る部分については、どれくらい費用がかかるのか」との質疑に対し「直接工事費で、既存の暗渠排水の撤去、新しい暗渠の敷設等で全体工事費の約4%から4・5%の金額がかかる」などの答弁ありました。その

## ●経済建設消防委員会

### 愛郷橋出張所の整備事業

9月11日の当委員会では、付託された議案4件の審査を行い、すべて原案可決すべきものと決しました。

愛郷橋出張所の整備事業については、現地調査後、執行部より移転候補地の近隣住民に対し、説明会を行ったことなどの説明がありました。説明会では、出張所の概要、移転の目的と必要性、現状と課題、課題に対する取組、候補地の選定、今後の予定など説明を行った結果、地元住民からは、救急車のサイレンの問題や、ヘリコプター

の離着陸場などについての質問があったが、特に反対する意見もなく、移転事業に理解を示していただけだ。

また地権者にも土地提供の協力を依頼したところ、快く了承していただいたことなどの報告がありました。委員からは「現地を見たが、候補地としては最適な場所かと思う。地域住民からも異論はなく、地域住民の理解も得られると思うが、出張所を建てる際には、現地で見た道路を拡幅し、車がすれ違えるようにすべき。今後進めていく中で、参考としてほしい」との意見が出されました。



▲愛郷橋出張所の移転候補地を調査

## 》》》》議会を傍聴してみませんか《《《《

石岡市議会では、本会議と各常任委員会を一般公開しており、どなたでも議会の傍聴ができます。傍聴をご希望の方は、石岡市議会ホームページ、または、議会広報紙等に掲載される会議案内にて日程をご確認のうえ、本会議は八郷総合支所4階議場の「傍聴席入口」まで、各常任委員会は八郷総合支所4階の「議会事務局」までおいでください。なお、傍聴は先着順となります。

